

「確かな学力」「豊かな心」
「たくましい体力」を
育む学校教育の充実

学校教育のねらいは、子どもたちに確かな学力をつけ、生涯にわたってたくましく生きる力を育むことにあります。新学習指導要領の全面実施にむけた児童・生徒の発達段階と地域性に配慮した赤平市基礎教育課程づくりに全力で取り組み、各学校においては、知育・徳育・体育の調和のとれた教育課程の編成を図ります。学習指導においては、絶えず指導方法の工夫改善、充実をめざします。

また、知識・技能の確実な定着にとつて、家庭学習の習慣化を欠かすことはできません。保護者と連携し、望ましい生活習慣の確立に努めます。いじめの根絶はもとより不登校の解消、問題傾向をかかえる児童・生徒の早期対応など教職員と児童・生徒の心の交流を大事にしなが、積極的な生徒指導を通して対応してまいります。

いじめの対応については、いじめられている子どもの側にたつて相談、指導体制を整えることであります。「明るく、元気で、楽しい学級づくり」がいじめ根絶の切り札であることを共通認識し、指導を強めてまいります。

教育行政 執行方針



子どもの安全、安心の確保は重要課題であります。学校支援地域本部事業を活用し、登・下校時の安全確保の体制づくりをすすめるとともに、交通事故の防止に努めてまいります。あわせて、耐震化を含めた安全な校舎環境の整備に努めてまいります。

特別支援教育

各学校では校内組織の整備や個別支援計画の策定など取り組んできたところであり、昨年度より支援員の一部配置をおこなったところではありますが、今年度も特別支援教育の一層の充実をめざして取り組んでまいります。

学校給食

健全な心身の発達に資する学

本市にあっては、行財政改革の確実な実施により、いわゆる「財政健全化法」に示された4指標を全てクリアーし、財政健全段階となったところでありますが、教育委員会としては、所轄の各種施設の維持、管理や事務局の組織体制など効率的な対応に取り組んできたところであります。

こうした中で、新型インフルエンザの感染拡大により、幼稚園、小・中学校、高校で学級、学年、学校閉鎖が相次ぎ、授業時数や学校行事などに大きな影響を生じましたが、園児、児童、生徒は比較的落ち着いた状態で各種の教育活動に取り組み着実に成果をあげてきたといえます。教育委員会といたしましては、こうした厳しい状況にあっても、赤平の教育の充実を求めて精一杯の取り組みをすすめてきたところであります。

平成21年度の成果と反省にたつて、ここに平成22年度の教育行政執行方針を示すものであります。

校給食の役割りは極めて大切であります。食育の重要性が叫ばれている中、栄養のバランスに配慮し、子どもたちに喜ばれる安全、安心な給食の提供に努めてまいります。

給食費の値上げについては、引き続き献立の工夫などにより押さえてまいりたいと考えています。

幼稚園教育

公立幼稚園としては、管内で最も大きな幼稚園であり、広々とし

た環境の中で、3歳児保育を含めた適切な教育が実施されています。今後とも幼稚園教育の一層の充実をめざし、職員一丸となつて取り組むよう指導してまいります。



心豊かに学習し 充実した人生の創造を めざす社会教育の推進

市民が心豊かに学習し、充実した人生をめざす社会教育の推進は、極めて重要です。厳しい財政事情から公民館やスポーツセンターなどの整理、統合をすすめてきました。今後は、体育関係は総合体育館、社会教育関係は交流センターみらいと東公民館に集約し、利用者の理解を得ながら、効率的な運営に努めてまいります。

市民プールであります。築25年を経過し今後も維持するには多額の費用が予想されること、赤平公園内にあつて単独での立地と交通の便も悪いことから、総合的な体育施設としての利便性を考慮し、総合体育館に近接する箇所に移転新築することとして23年度オープンに向け準備を進めます。

青少年教育

体験学習の促進をねらいとして、引き続き青少年健全育成事業、ふるさと少年教室などの充実をめざします。子どもの虐待など児童福祉の諸課題についても、関係機関との連携を密にして取り組んでまいります。

成人・高齢者教育

地域社会のコミュニティづくりの活性化をめざし、公民館講座趣味・教養講座などの積極的な活用、人材バンクを含めた指導者の発掘・養成など地域社会に密着した学習機会の充実をめざします。

芸術・文化の振興

市民が芸術・文化に親しみ、ゆとりとふれあいを大事にし、文化教養事業を奨励するなど、市民の文化への理解と関心を高め、文化協会と連携し、地域に根ざした特色ある芸術・文化の振興に努めます。

読書活動振興と 図書館運営

市民が親しみ、利用しやすい図書館をめざします。「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが一層読書に親しむことのできる環境づくりに取り組んで

まいります。「ブックスタート」、「絵本読み聞かせ」については、引き続き内容の充実をめざします。

市民の健康増進を めざしたスポーツの振興

スポーツを通して、心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く「生涯スポーツ社会」の実現をめざし、健康づくり、体力づくりをはじめ、多様な競技スポーツ、レクリエーションスポーツ活動を支援してまいります。スポーツ関係団体との連携を密にし、指導者の育成と体育協会の自主運営を促進します。

学校・家庭・地域の連携の もと、教育の総合力で 活力ある地域社会の創造

教育は、学校・家庭・地域のもつ機能が発揮され、連携が図られたとき、教育の総合力として機能するのであります。

教育委員会は、教育行政の事務的管理、執行状況について点検・評価を行い公表しました。今後も毎年度点検・評価を通じ教育行政の着実な推進に努めます。

学校の適正配置について

現在の適正配置計画は、平成16年度から25年度までを計画期間として、小学校は複式の解消

と中学校の学年複数学級実現を目標に策定いたしました。これにより、平成17年には百戸小学校を19年には赤平小学校を、中学校では同年3校を統合して、小学校5校、中学校2校で現在に至っています。

しかし、少子化が予想以上に進んでおり、将来の人口推計から今後少子化が確実に進行することが明らかであります。より教育効果を高めるためにも一定の学校規模を維持することが重要であることから、今後の学校配置計画について、学校教育条件整備審議会に検討していただくよう取り組んでまいります。

赤平の教育は、「地域に信頼される赤平の教育を創ろう」をテーマに取り組んできました。それは、地域のイベントに全小・中学校が参加することです。開かれた学校をめざし、より一層充実し

た取り組みをすすめます。

赤平市教育研究推進協議会

赤平の教育の中心的な役割りを担い教育研究はもとより、地域のイベントへ積極的にかかわっています。特に、今年度は新学習指導要領の全面実施にむけた、赤平市基底教育課程づくりの中心的な役割りを担うこととなります。

赤平高校再生

各種資格試験や大学、短大の指定校枠の活用などを通して確実に力をつけてきています。しかし、赤平高校の志願者確保は依然として厳しい状況にあるといえます。道教委の示す公立高校配置計画では、一間口となつていゝるものの、地元からの志願者確保の取り組みを強力にすすめる必要があります。

